



38.0℃以上の熱が出たとき

症状の相談や、夜間・休日に受診できる医療機関の案内
ふなばし健康ダイヤル24(36ページ参照) ☎0120-2784-37

体温が38.0℃程度で機嫌がよく、水分・食事がとれ、
すやすや寝ているようなら、あわてず様子を見て、通常
の診療時間内に受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わった場合は医療機関を受診してください。

こんなときは、医療機関を受診しましょう。

- 生後3か月以下の赤ちゃんで、38.0℃以上の熱がある。
- 意識がおかしく、ぐったりしている。
- 下痢・おう吐を繰り返している。
- 顔色が悪く、あやしても笑わない。
- 呼びかけてもすぐに眠ってしまう。
- 呼吸がおかしい。
- 熱が出る前に、高温・多湿の場所に長時間いた。



ワンポイントアドバイス



熱は無理に下げる必要はありません。

熱は病気とたたかうために必要です。無理に下げる必要はありません。ただし、熱でつらい時は冷やしたり解熱剤を使うことを考えましょう。けっして、平熱まで下げる必要はありません。熱のある間は入浴を避けてください。



水分をしっかり補給させましょう。

湯ざまし、麦茶、乳幼児用イオン飲料水※、経口補水液※などを飲ませてあげましょう。



母乳やミルク、食事を欲しがるときはあげましょう。

無理に与える必要はありません。食事は消化の良いおかゆ、うどんなどの炭水化物を与えましょう。

※ 乳幼児用イオン飲料水・経口補水液は薬局やドラッグストアなどで購入できます。